

■ 調査結果

1. 自転車の利用環境（「利用促進」「安全利用」「通行環境」「駐輪環境」）について

（1）自転車「利用促進」について

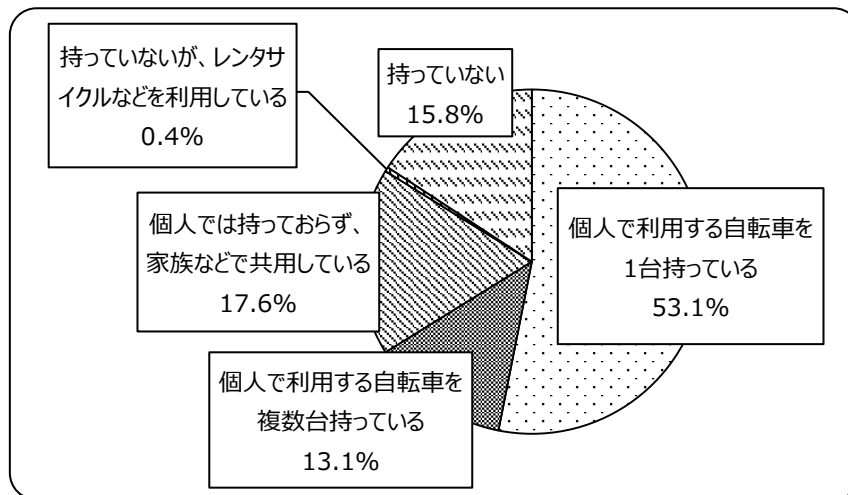
＜自転車の保有台数＞

問 1. 自転車を持っていますか。

【選択は 1 つ】

「個人で利用する自転車を 1 台持っている」が 53.1%、「個人で利用する自転車を複数台持っている」が 13.1%、「個人では持っておらず、家族などで共有している」が 17.6%であり、約 8 割（83.8%）の方が何らかの形で自転車を保有していることがわかる。

	選択項目（N=482）	回答数	構成比
1	個人で利用する自転車を1台持っている	256	53.1%
2	個人で利用する自転車を複数台持っている	63	13.1%
3	個人では持っておらず、家族などで共有している	85	17.6%
4	持っていないが、レンタサイクルなどを利用している	2	0.4%
5	持っていない	76	15.8%
	計（回答総数）	482	100.0%



「自転車の利用頻度」

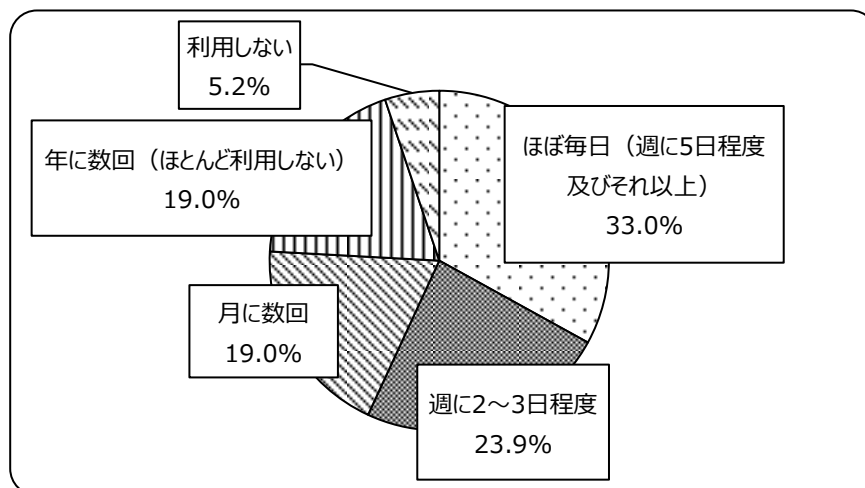
問 2. 問 1 で「1 個人で利用する自転車を 1 台持っている」「2 個人で利用する自転車を複数台持っている」「3 個人では持っておらず、家族などで共用している」「4 持っていないが、レンタサイクルなどを利用している」と回答された方に伺います。

あなたはどれくらいの頻度で自転車を利用しますか。

【選択は 1 つ】

「ほぼ毎日（週に 5 日程度及びそれ以上）」が 33.0%、「週に 2～3 日程度」が 23.9%であり、約 6 割（56.9%）の方が恒常的に利用している。また、「月に数回」が 19.0%、「年に数回（ほとんど利用しない）」が 19.0%であり、約 4 割（38.0%）の方は利用頻度は低い。

	選択項目 (N=406)	回答数	構成比
1	ほぼ毎日（週に5日程度及びそれ以上）	134	33.0%
2	週に2～3日程度	97	23.9%
3	月に数回	77	19.0%
4	年に数回（ほとんど利用しない）	77	19.0%
5	利用しない	21	5.2%
	計（回答総数）	406	100.0%



「自転車の利用方法」

問 3. 問 2 で「1 ほぼ毎日（週に 5 日程度及びそれ以上）」「2 週に 2～3 日程度」「3 月に数回」「4 年に数回（ほとんど利用しない）」と回答された方に伺います。

自転車をどのように利用していますか。 【複数選択可：いくつでも】

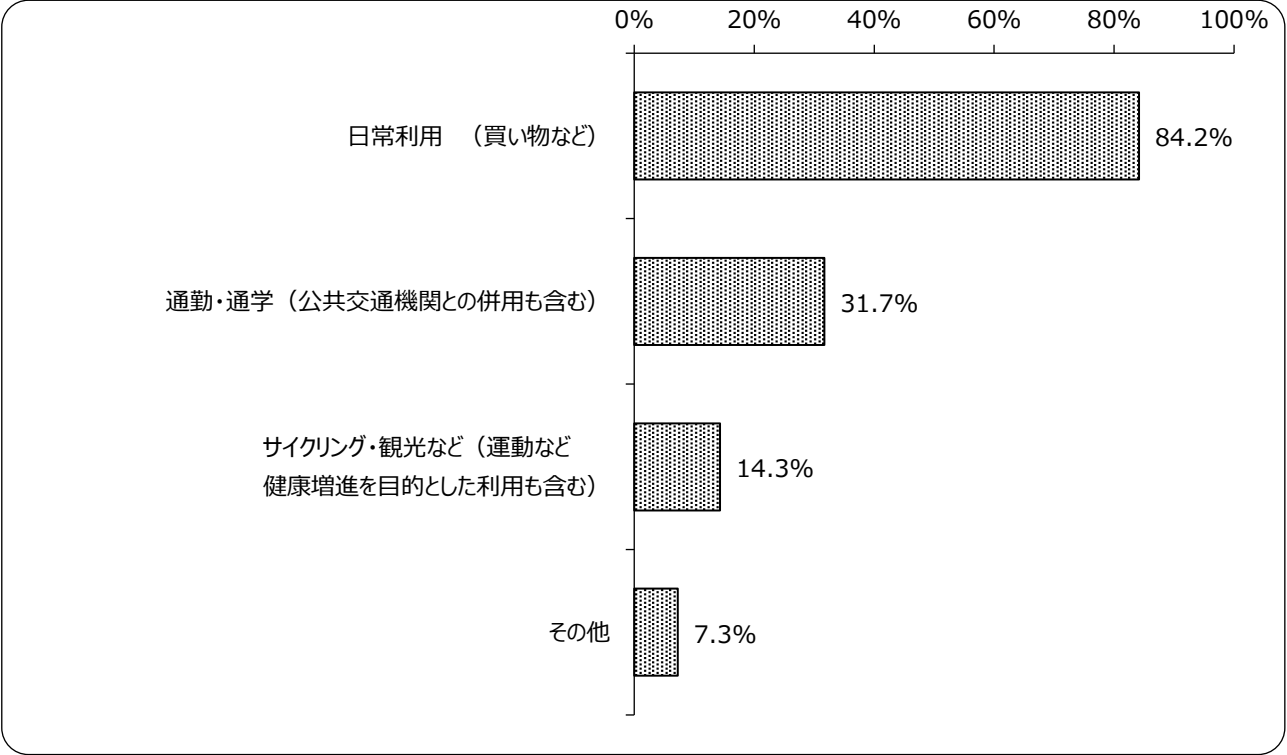
「日常利用（買い物など）」が 84.2%と、自転車を利用する方の主な目的であることがわかる。

	選択項目（N=385）	回答数	回答数/N
1	日常利用（買い物など）	324	84.2%
2	通勤・通学（公共交通機関との併用も含む）	122	31.7%
3	サイクリング・観光など（運動など健康増進を目的とした利用も含む）	55	14.3%
4	その他	28	7.3%

[4 その他]

【主な回答】

- 子どもの園、習い事等への送迎
- 通院
- 交通が不便な場所へ向かうとき



「堺市シェアサイクル実証実験の認知度と利用実績」

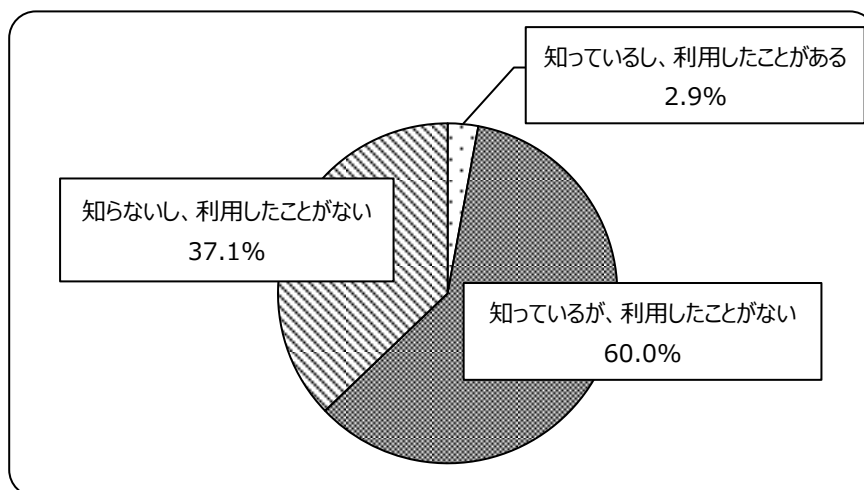
問 4. 「堺市シェアサイクル実証実験」を知っていますか。

【選択は 1 つ】

「知っているが、利用したことがない」が 60.0%、「知っているし、利用したことがある」が 2.9%と、「堺市シェアサイクル実証実験」を知っている方は約 6 割（62.9%）である。

「知らないし、利用したことがない」が 37.1%であったため、利用者の増加及び認知度を高めるために広報などで周知を行う。

	選択項目（N=482）	回答数	構成比
1	知っているし、利用したことがある	14	2.9%
2	知っているが、利用したことがない	289	60.0%
3	知らないし、利用したことがない	179	37.1%
	計（回答総数）	482	100.0%



「堺市シェアサイクル実証実験の利用希望」

問 5. 問 4 で「2 知っているが、利用したことがない」「3 知らないし、利用したことがない」と回答された方に伺います。
 今後利用したいと思いますか。 【選択は 1 つ】

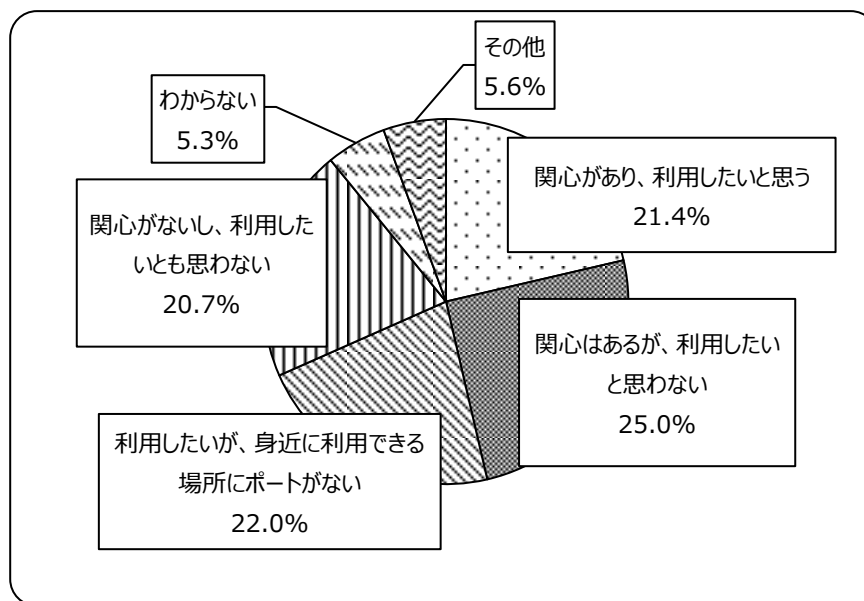
「関心はあるが、利用したいと思わない」が 25.0%、「利用したいが、身近に利用できる場所にポートがない」が 22.0%、「関心があり、利用したいと思う」が 21.4%と、約 7 割（68.4%）の方が関心を持っており、うち今後の利用について約 4 割（43.4%）の方が利用したいと考えていることがわかる。

	選択項目（N=468）	回答数	構成比
1	関心があり、利用したいと思う	100	21.4%
2	関心はあるが、利用したいと思わない	117	25.0%
3	利用したいが、身近に利用できる場所にポートがない	103	22.0%
4	関心がないし、利用したいとも思わない	97	20.7%
5	わからない	25	5.3%
6	その他	26	5.6%
	計（回答総数）	468	100.0%

[6 その他]

【主な回答】

- 電動自転車・自動車を保有しているため、利用する機会がない。
- 自転車に乗れない。
- 子乗せ自転車がない、自分の使いたい場所にポートがない等、利用環境が整っていない。



「シェアサイクルの利便性向上」

問 6. 現在、シェアサイクルポートを拡充しています。今後、どのような場所に設置されていると利用しやすい、または利用してみたいと感じますか。 【複数選択可：いくつでも】

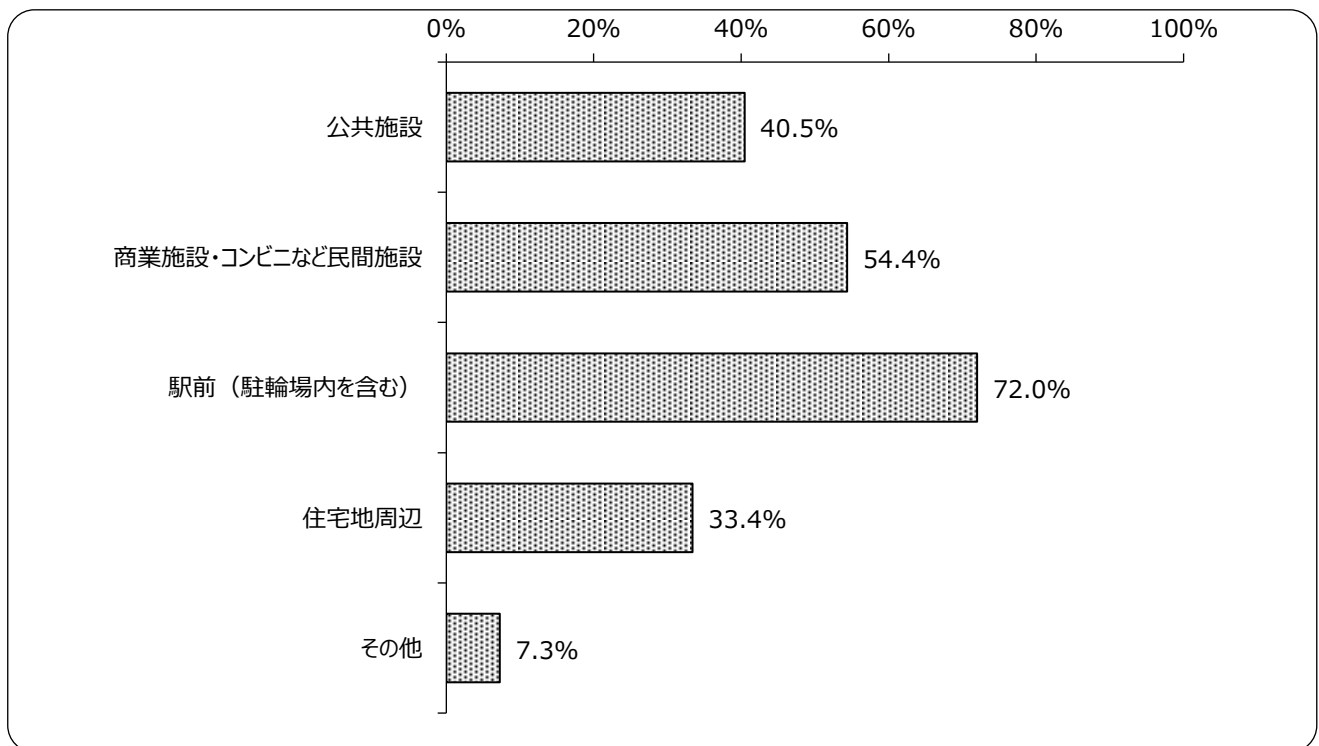
「駅前（駐輪場内を含む）」が72.0%、「商業施設・コンビニなど民間施設」が54.4%、「公共施設」が40.5%、「住宅地周辺」が33.4%であり、「駅前（駐輪場内を含む）」のシェアサイクルポートが拡充されると、利用しやすい、または利用してみたいと感じる方が多いことがわかる。

	選択項目（N=482）	回答数	回答数/N
1	公共施設	195	40.5%
2	商業施設・コンビニなど民間施設	262	54.4%
3	駅前（駐輪場内を含む）	347	72.0%
4	住宅地周辺	161	33.4%
5	その他	35	7.3%

[5 その他]

【主な回答】

- 学校（大学含む）
- バス停留所付近
- 観光地（公園含む）



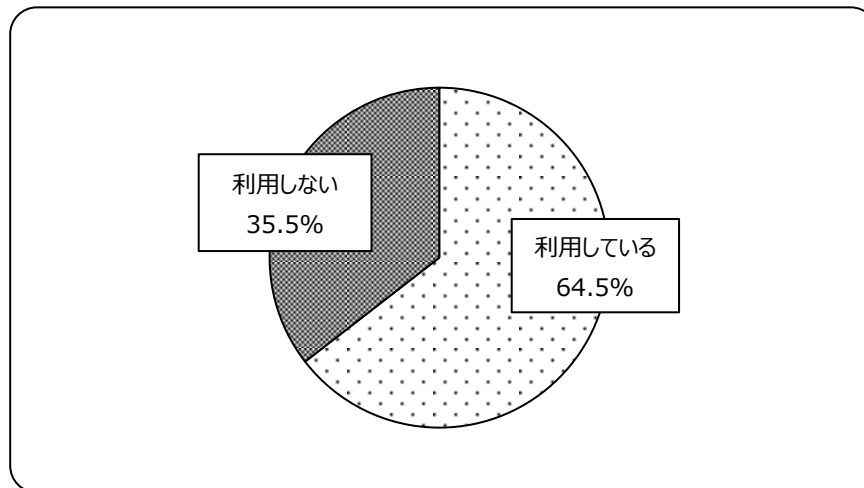
(2)「安全利用」について

問 7. 普段から自転車を利用されていますか。

【選択は 1 つ】

「利用している」が 64.5%、「利用しない」が 35.3%であり、6 割以上の方が普段から自転車を利用していることがわかる。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	利用している	311	64.5%
2	利用しない	171	35.5%
	計 (回答総数)	482	100.0%

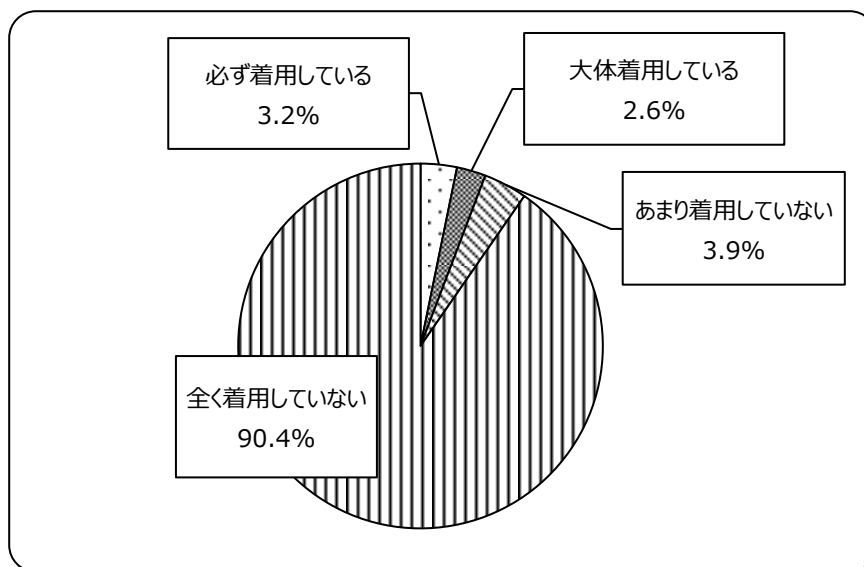


「ヘルメットの着用状況」

問 8. 問 7 で「1 利用している」と回答された方に伺います。日頃、自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。【選択は 1 つ】

「全く着用していない」が全体の約 9 割（90.4%）と高い割合であることがわかる。また、「必ず着用している」が 3.2%、「大体着用している」が 2.6%と、普段からヘルメットを着用している方は 5.8%と少ないため、全自転車利用者への乗車用ヘルメット着用について広報・周知する必要がある。

	選択項目（N=311）	回答数	構成比
1	必ず着用している	10	3.2%
2	大体着用している	8	2.6%
3	あまり着用していない	12	3.9%
4	全く着用していない	281	90.4%
	計（回答総数）	311	100.0%



「自転車保険の加入状況」

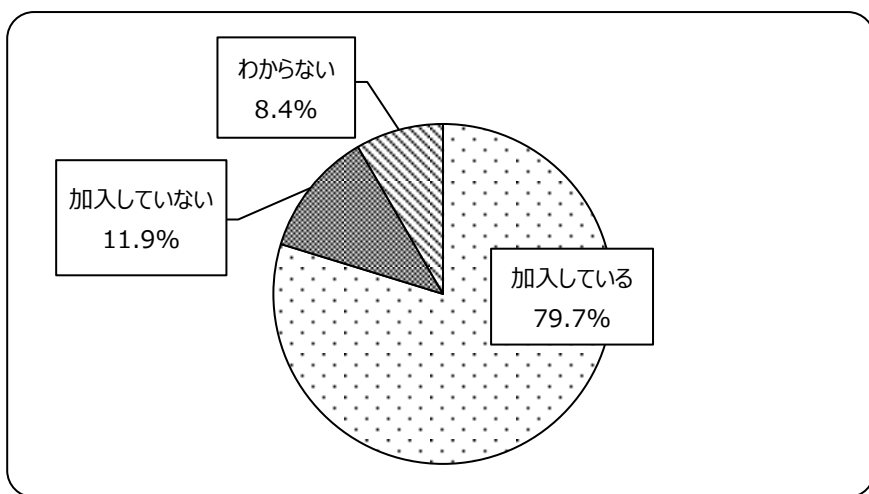
問 9. 問 7 で「1 利用している」と回答された方に伺います。自転車を利用中に加害事故を起こした場合の被害者への賠償に備えた保険（いわゆる自転車保険または個人賠償責任保険など）に加入していますか。

※平成 28 年 7 月より大阪府内で自転車を利用する場合、保険への加入が義務化されました。

【選択は 1 つ】

保険への加入が義務化されているにもかかわらず、「加入していない」が 11.9%であるため、保険加入の周知がさらに必要である。

	選択項目（N=311）	回答数	構成比
1	加入している	248	79.7%
2	加入していない	37	11.9%
3	わからない	26	8.4%
	計（回答総数）	311	100.0%



「自転車歩道通行可の標識走行」

問 10. 問 7 で「1 利用している」と回答された方に伺います。車の仲間である自転車が歩道を通行することが出来るのは、「自転車歩道通行可」の標識がある場所だけです。あなたは普段、この標識があることを意識して通行していますか。

※但し、13 歳未満の方や 70 歳以上の方、または身体の不自由な方が自転車を運転するときは例外的に通行できます。また工事などで車道走行できない場合なども通行できます。【選択は 1 つ】

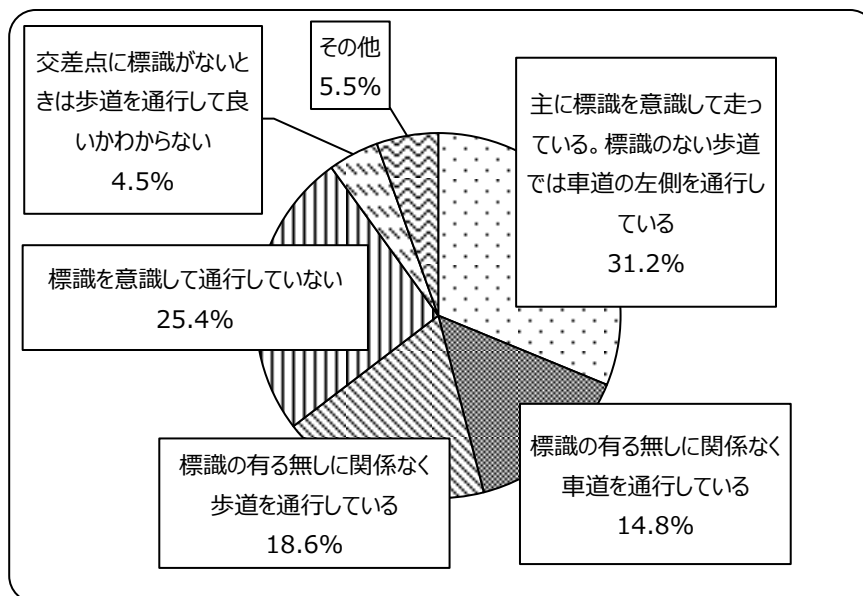
「主に標識を意識して走っている。標識のない歩道では車道の左側を通行している」と回答した方が 31.2%と最も多かったものの、次ぐ 25.4%が「標識を意識して通行していない」と回答していることから、引き続き交通ルール啓発を行う必要がある。

	選択項目 (N=311)	回答数	構成比
1	主に標識を意識して走っている。標識のない歩道では車道の左側を通行している	97	31.2%
2	標識の有る無しに関係なく車道を通行している	46	14.8%
3	標識の有る無しに関係なく歩道を通行している	58	18.6%
4	標識を意識して通行していない	79	25.4%
5	交差点に標識がないときは歩道を通行して良いかわからない	14	4.5%
6	その他	17	5.5%
	計 (回答総数)	311	100.0%

[6 その他]

【主な回答】

- 通行する危険度に応じて、車道、歩道の通行を判断している。
- 道の狭い車通りの多い道などは歩道を走っている。
- 標識は理解しているが車道を走るのは怖く、歩道を通行していることが多い。



「自転車のあおり運転」

問 11. 令和 2 年 6 月 30 日に道路交通法が改正され、自転車にも「妨害運転」（「あおり運転」）として、罰せられるようになりました。次のような行為が自転車の「あおり運転」に当たります。

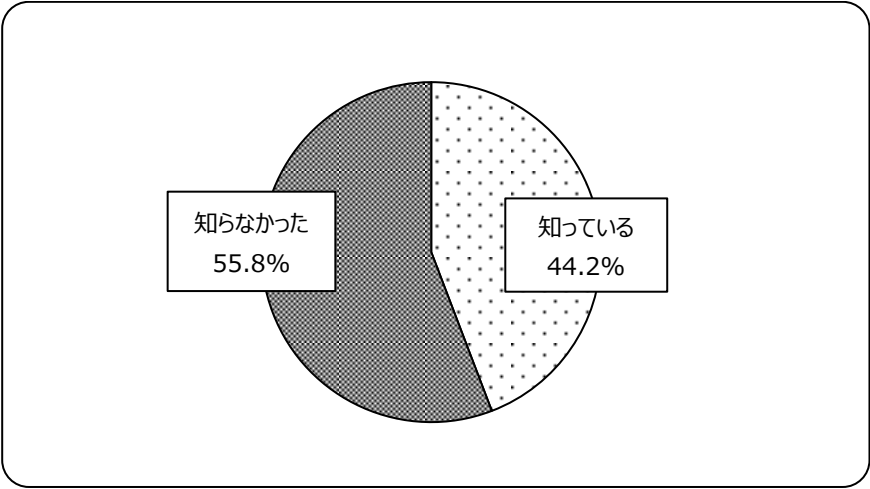
- ・逆走して進路をふさぐ ・急に割り込む（進路変更） ・幅寄せ ・不必要な急ブレーキ
- ・車間距離の不保持 ・執拗にベルを鳴らす

このことを知っていましたか。

【選択は 1 つ】

「知らなかった」が 55.8%と、「知らなかった」と回答した方が全体の半分以上を占めており、引き続き啓発を行う必要がある。

	選択項目（N=482）	回答数	構成比
1	知っている	213	44.2%
2	知らなかった	269	55.8%
	計（回答総数）	482	100.0%



「ルール・マナーの順守について」

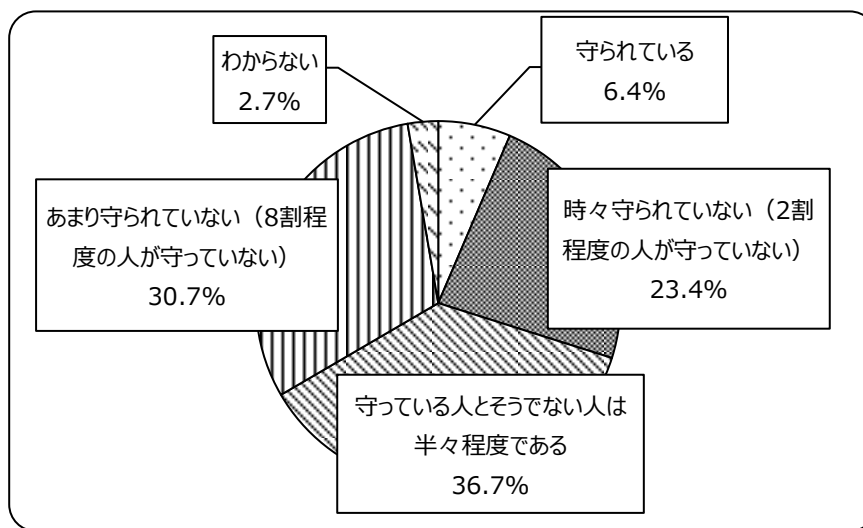
問 12. 日常生活において、街中で見て感じる自転車の交通ルール・マナーについて伺います。

自転車乗車中の交通ルール・マナーが守られていると思いますか。

【選択は 1 つ】

「守っている人とそうでない人は半々程度である」、「あまり守られていない（8 割程度の人が守っていない）」が 67.4%と全体の約 7 割を占めていることから、未だ交通ルール・マナーが守られている状況にはないため、今後も啓発等を行う必要がある。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	守られている	31	6.4%
2	時々守られていない（2割程度の人が守っていない）	113	23.4%
3	守っている人とそうでない人は半々程度である	177	36.7%
4	あまり守られていない（8割程度の人が守っていない）	148	30.7%
5	わからない	13	2.7%
	計（回答総数）	482	100.0%



「ルール・マナーの順守できていない項目について」

問 13. 問 12 で「2 時々守られていない（2 割程度の人が守っていない）」「3 守っている人とそうでない人は半々程度である」「4 あまり守られていない（8 割程度の人が守っていない）」と回答された方に伺います。
それは具体的にどのような交通ルール・マナーのことですか。 【複数回答可：いくつでも】

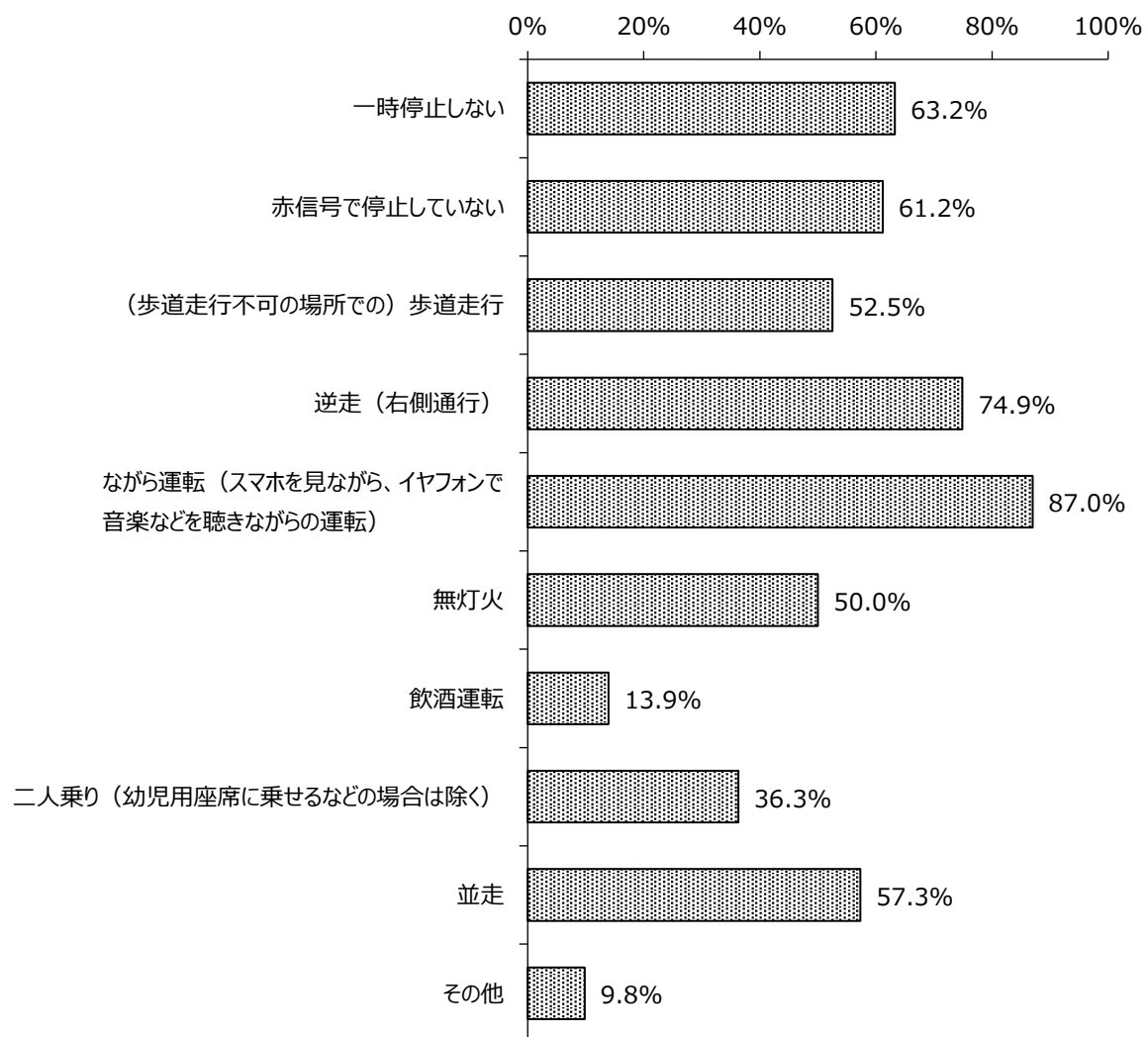
「ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽などを聴きながらの運転）」が 87.0%と最も多く、次いで「逆走（右側通行）」が 74.9%であり、今後も交通ルール・マナーの順守のための啓発等が必要である。

	選択項目（N=438）	回答数	回答数/N
1	一時停止しない	277	63.2%
2	赤信号で停止していない	268	61.2%
3	（歩道走行不可の場所での）歩道走行	230	52.5%
4	逆走（右側通行）	328	74.9%
5	ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽などを聴きながらの運転）	381	87.0%
6	無灯火	219	50.0%
7	飲酒運転	61	13.9%
8	二人乗り（幼児用座席に乘せるなどの場合は除く）	159	36.3%
9	並走	251	57.3%
10	その他	43	9.8%

[10 その他]

【主な回答】

- 傘差し運転、固定具を使用した傘差し運転
- 歩行者に対する幅寄せ
- 後方を確認せずに、斜めに横断する。



「安全教育や啓発事業の必要性について」

問 14. 自転車のルール・マナーを順守してもらうためには、どのような安全教育や啓発などが必要だと思いますか。

【複数回答可：いつでも】

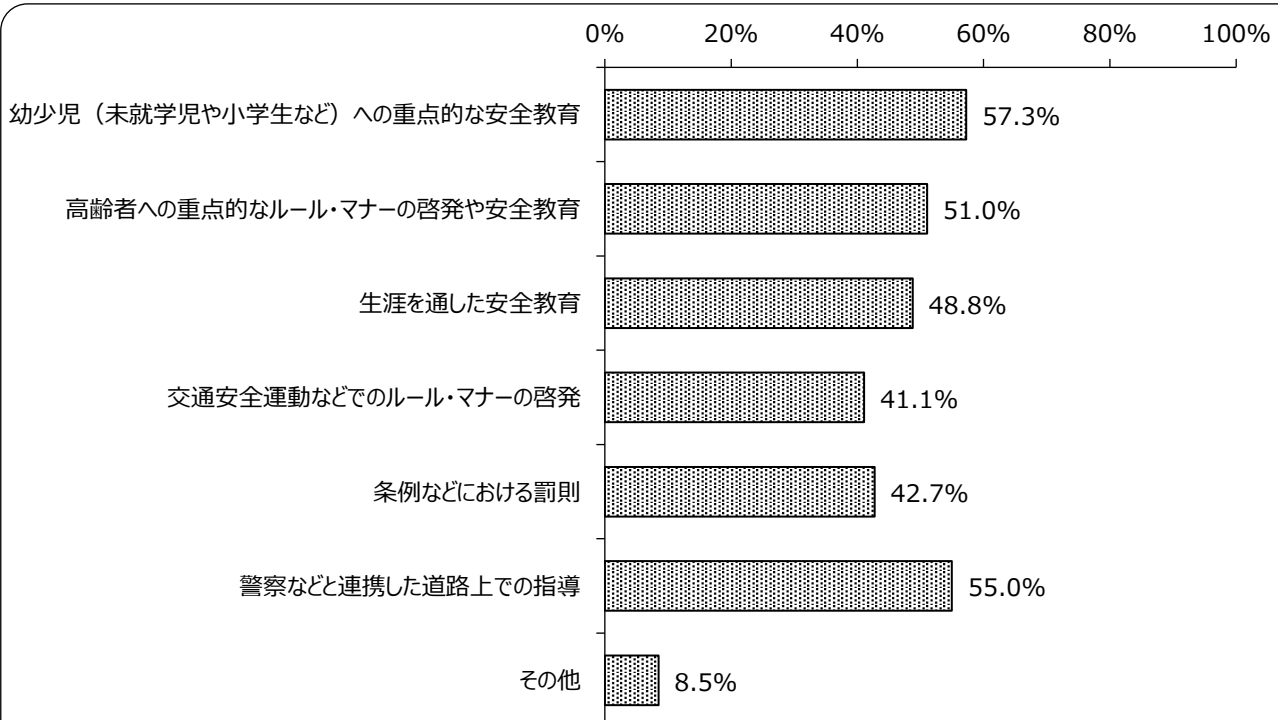
最も多かったのが「幼少児（未就学児や小学生など）への重点的な安全教育」（57.3%）、次いで「警察などと連携した道路上での指導」（55.0%）であり、今後も警察等と連携した指導、啓発を行う。

	選択項目（N=482）	回答数	回答数/N
1	幼少児（未就学児や小学生など）への重点的な安全教育	276	57.3%
2	高齢者への重点的なルール・マナーの啓発や安全教育	246	51.0%
3	生涯を通じた安全教育	235	48.8%
4	交通安全運動などでのルール・マナーの啓発	198	41.1%
5	条例などにおける罰則	206	42.7%
6	警察などと連携した道路上での指導	265	55.0%
7	その他	41	8.5%

[7 その他]

【主な回答】

- テレビ、ネット媒体からの啓発
- 中高生への学校での指導
- 学校の先生の増員、見守り運動の強化、警察および青色灯パトロールカーでの啓発



(3) 自転車「通行環境」について

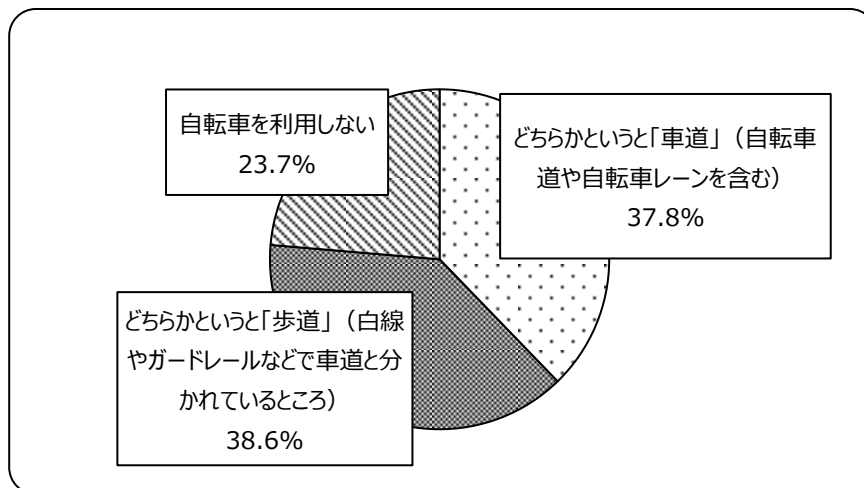
≪自転車の通行位置≫

問 15. あなたは、自転車で主にどこを通行していますか。

【選択は 1 つ】

どちらかというと「車道」を通行する方の割合は 37.8%（令和 3 年度 36.5%）、どちらかというと「歩道」を通行する方の割合は 38.6%（令和 3 年度 39.2%）となっている。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	どちらかというと「車道」(自転車道や自転車レーンを含む)	182	37.8%
2	どちらかというと「歩道」(白線やガードレールなどで車道と分かれているところ)	186	38.6%
3	自転車を利用しない	114	23.7%
	計 (回答総数)	482	100.0%



「自転車通行におけるルール・マナー」

問 16. 問 15 で「1 どちらかというと「車道」」「2 どちらかというと「歩道」と回答された方に伺います。
 自転車に乗るときのルールとして次の 2 つのルールを知っていますか。

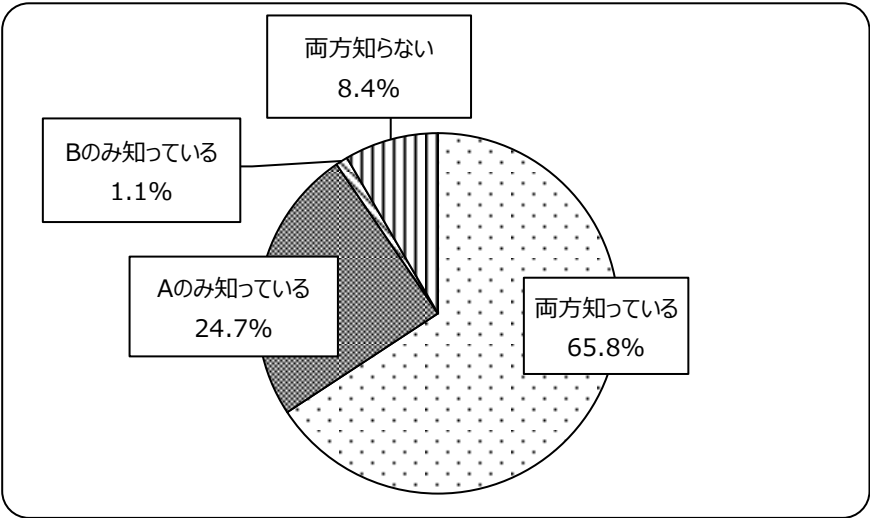
A.自転車は、車道の左側を通行（左側通行）する。

B.自転車は、原則車道通行だが、「自転車歩道通行可」の標識のある歩道を通行する際は、車道寄りを徐行しなければならない。また、歩行者優先のため、その通行を妨げることになる場合は、一旦停止をしなければならない。

【選択は 1 つ】

「両方知っている」（65.8%）、「A のみ知っている」（24.7%）と「B のみ知っている」（1.1%）を合わせると 91.6%（令和 3 年度 89.6%）の方が自転車は原則車道通行であることを知っている。一方、「両方知らない」と回答した方が 8.4%（令和 3 年度 10.4%）であり、引き続き周知・啓発を行う。

	選択項目（N=368）	回答数	構成比
1	両方知っている	242	65.8%
2	Aのみ知っている	91	24.7%
3	Bのみ知っている	4	1.1%
4	両方知らない	31	8.4%
	計（回答総数）	368	100.0%



「自転車レーンの通行頻度」

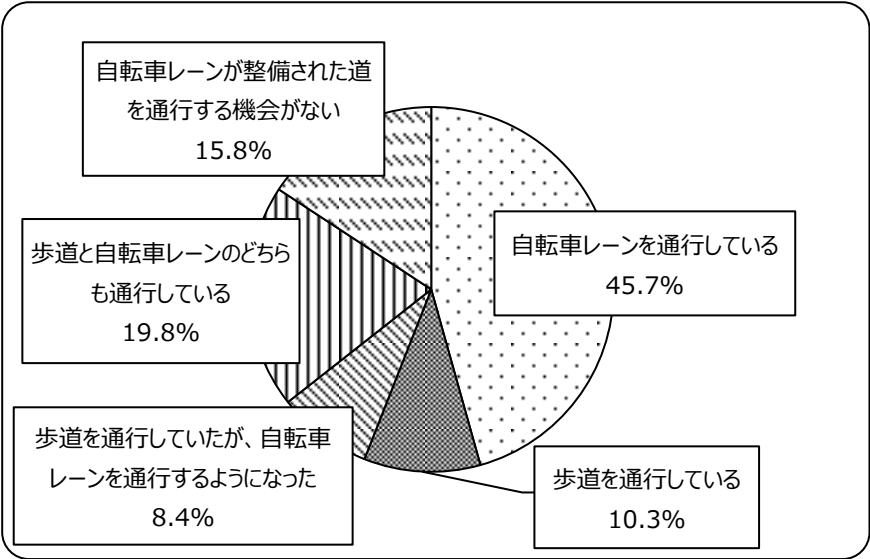
問 17. 問 15 で「1 どちらかというと「車道」」「2 どちらかというと「歩道」」と回答された方に伺います。

本市では車道に青色サインを施した自転車レーンの整備を推進しています。あなたは、整備された自転車レーンを通行するようになりましたか。

【選択は 1 つ】

「自転車レーンを通行している」方の割合は 45.7%、「歩道を通行していたが、自転車レーンを通行するようになった」方の割合は 8.4%であり、合わせると 54.1%（令和 3 年度 54.8%）の人が自転車レーンを通行している。一方、自転車レーン整備後も「歩道を通行している」方の割合は 10.3%、「歩道と自転車レーンのどちらも通行している」方の割合は 19.8%であり、合わせると 30.1%（令和 3 年度 29.6%）の人が自転車レーン整備後も歩道を通行している。

	選択項目（N=368）	回答数	構成比
1	自転車レーンを通行している	168	45.7%
2	歩道を通行している	38	10.3%
3	歩道を通行していたが、自転車レーンを通行するようになった	31	8.4%
4	歩道と自転車レーンのどちらも通行している	73	19.8%
5	自転車レーンが整備された道を通行する機会がない	58	15.8%
	計（回答総数）	368	100.0%



「生活道路における自転車通行環境整備について」

問 18. 市内の生活道路では、自転車の逆走や夜間の無灯火などが多いことから、左側通行などの走行マナーの向上を図ることで事故防止につながると考えています。

あなたは、生活道路において自転車の左側通行を促進する路面表示により、自転車通行環境を整備することについてどうお考えですか。 【選択は 1 つ】

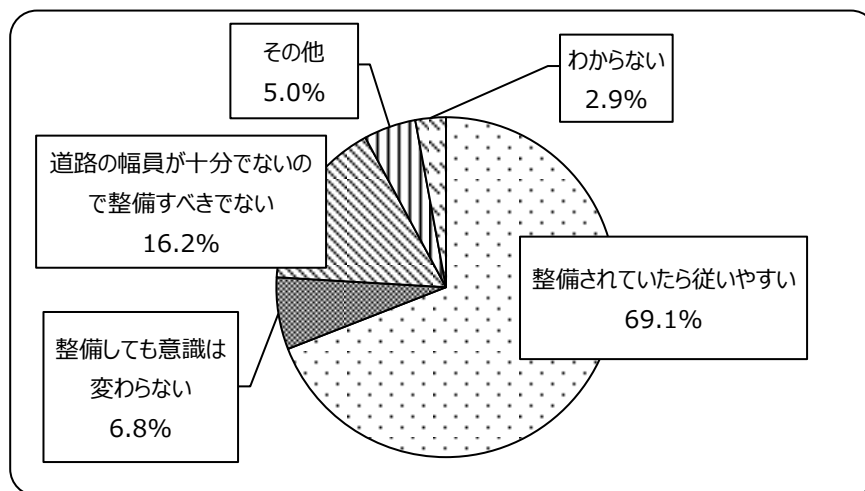
「整備されていたら従いやすい」と回答した方が 69.1%に対して、「整備しても意識は変わらない」と「道路の幅員が十分でないので整備すべきでない」と回答した方は合わせて 23.0%であり、生活道路における自転車通行環境整備について肯定的に考えている方が多い。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	整備されていたら従いやすい	333	69.1%
2	整備しても意識は変わらない	33	6.8%
3	道路の幅員が十分でないので整備すべきでない	78	16.2%
4	その他	24	5.0%
5	わからない	14	2.9%
	計 (回答総数)	482	100.0%

[4 その他]

【主な回答】

- 整備するべきであるが、道路の幅員が十分でないので、自転車にとって危険である。
- 整備しても、そもそも道路の幅員が狭いと危険である。
- 整備されていても道が狭くて結局通り辛い道が多いと思う。

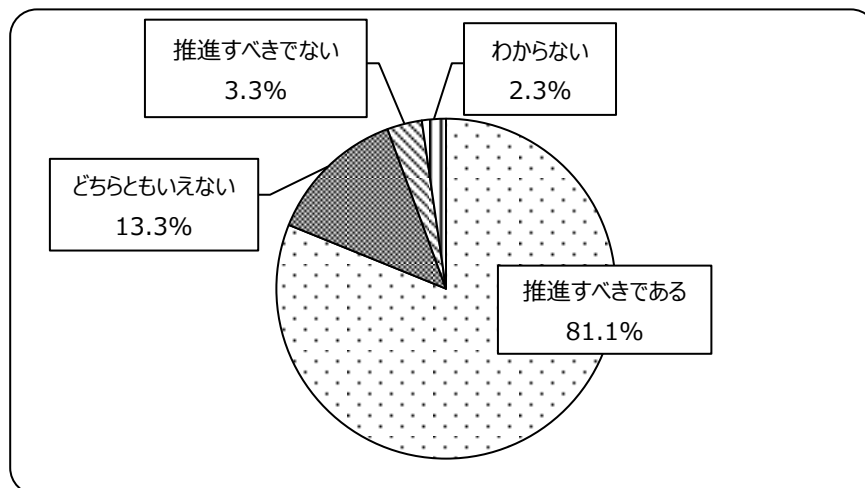


「自転車通行環境整備の推進について」

問 19. あなたは、今後も自転車道や自転車レーンなどの自転車通行環境の整備をすることについてどうお考えですか。 【選択は 1 つ】

「推進すべきである」と考えている方が令和 3 年度の 81.7%に対して、令和 4 年度は 81.1%、「推進すべきでない」と考えている方は令和 3 年度の 2.1%に対して、令和 4 年度は 3.3%であり、ともにほぼ横ばいである。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	推進すべきである	391	81.1%
2	どちらともいえない	64	13.3%
3	推進すべきでない	16	3.3%
4	わからない	11	2.3%
	計 (回答総数)	482	100.0%



(4)「駐輪環境」について

≪駅前放置自転車台数について≫

問 20. あなたが普段よく利用する（目にする）駅前の歩道及び車道について、放置自転車が何台あるイメージをお持ちですか。

選択肢 4 を選択した場合は、具体的な場所をお書きください。

【選択は 1 つ】

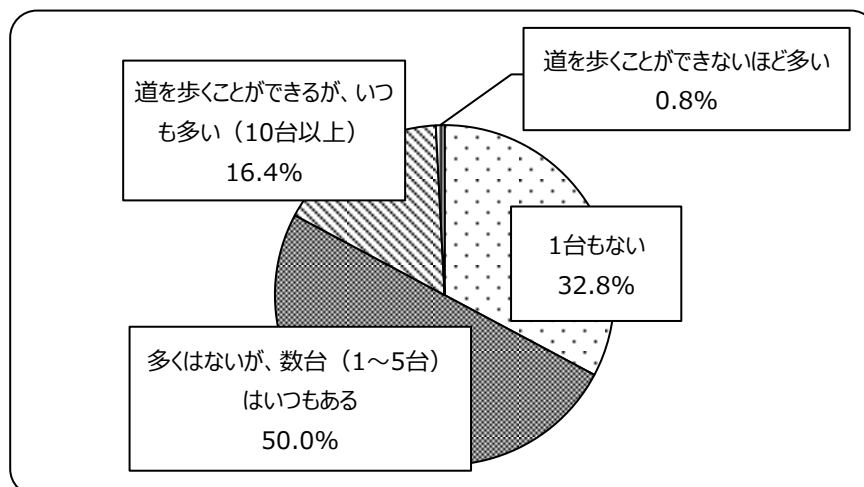
「1 台もない」が 32.8%、「多くはないが、数台（1～5 台）はいつもある」が 50.0%であり、約 8 割（82.8%）の方が駅前の歩道及び車道について放置自転車が少ないイメージを持っていることがわかる。しかしながら、「道を歩くことができるが、いつも多い（10 台以上）」が 16.4%、「道を歩くことができないほど多い」も 0.8%となっており、未だ常態的に自転車が放置されている場所があることから、今後もそのような場所を中心に対策を行う。

	選択項目（N=482）	回答数	構成比
1	1台もない	158	32.8%
2	多くはないが、数台（1～5台）はいつもある	241	50.0%
3	道を歩くことができるが、いつも多い（10台以上）	79	16.4%
4	道を歩くことができないほど多い	4	0.8%
	計（回答総数）	482	100.0%

[4 道を歩くことができないほど多い（具体的な場所）]

【回答一覧】

- プラットプラット前
- 泉ヶ丘コノミヤ横
- 大規模な駅前



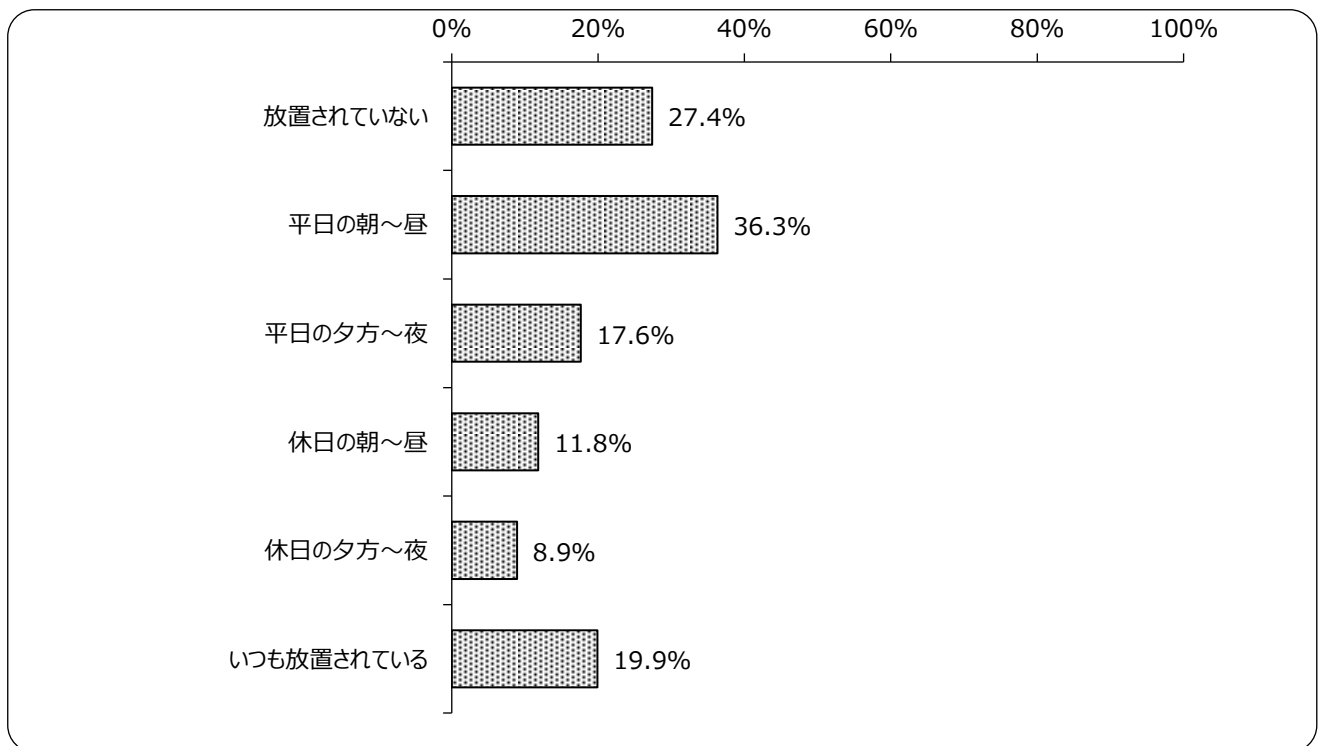
≪駅前での放置自転車状況時間帯について≫

問 21. 堺市内の各駅前の歩道及び車道について、特に放置自転車が多い時間帯はいつだと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

「平日の朝～昼」が 36.3%、「平日の夕方～夜」が 17.6%、「休日の朝～昼」が 11.8%、「休日の夕方～夜」が 8.9%、となっており、休日よりも平日の方が、また夜間よりも日中の方が、放置自転車が多いと認識していることがわかる。なお、「放置されていない」は 27.4%で、「いつも放置されている」は 19.9%となっており、「放置されていない」が 7.5 ポイント上回っている。

	選択項目 (N=482)	回答数	回答数/N
1	放置されていない	132	27.4%
2	平日の朝～昼	175	36.3%
3	平日の夕方～夜	85	17.6%
4	休日の朝～昼	57	11.8%
5	休日の夕方～夜	43	8.9%
6	いつも放置されている	96	19.9%



「駅前駐輪場について」

問 22. 堺市内の各駅前について、駐輪場は充足していると感じますか。

選択肢 2 を選択した場合は、具体的な駅名などをお書きください。

【選択は 1 つ】

「充足している」が 80.5%となっており、多くの方が各駅前の駐輪場は充足していると認識していることがわかる。一方で「充足していない」が 19.5%あり、最も回答が多かったのが堺東駅で、次いで中百舌鳥（なかもず）駅、堺駅となっている。

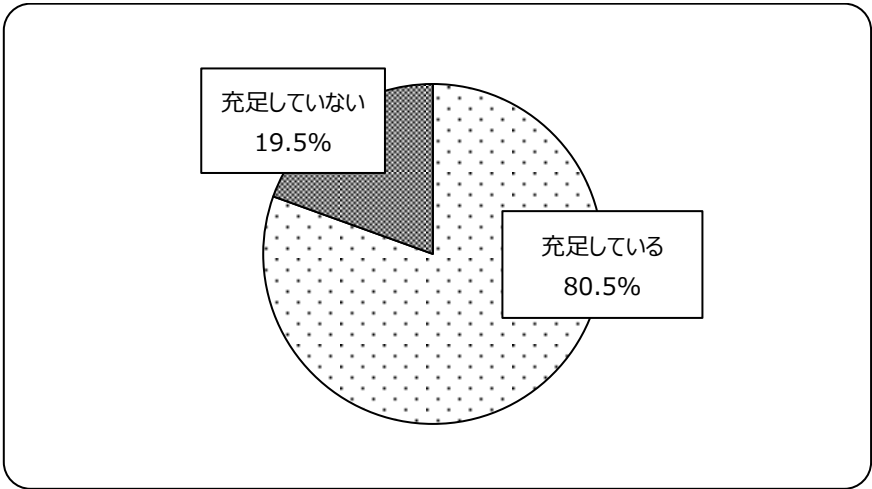
堺東駅は駅改札より 200m 以内にある駐輪場が少なく、駅前に新たな駐輪場用地を確保することが困難なことから活用されていない民有地の利活用など新たな対策を検討する必要がある。また中百舌鳥（なかもず）駅は駅隣接の駐輪場に定期利用希望者が集中し、定期利用待機者が多いことが課題である。

	選択項目（N=482）	回答数	構成比
1	充足している	388	80.5%
2	充足していない	94	19.5%
	計（回答総数）	482	100.0%

[2 充足していない（具体的な駅名）]

【回答一覧】（回答数が多かった順）

- 堺東
- 中百舌鳥（なかもず）
- 堺
- 泉ヶ丘
- 三国ヶ丘
- 北野田
- 新金岡
- 初芝
- 拇・美木多
- 七道
- 萩原天神
- 諏訪ノ森
- 深井
- 堺市
- 浜寺公園
- 上野芝
- 鳳
- 北花田
- 宿院
- 阪堺線の停留場



≪駐輪場のサービスについて≫

問 23. 本市の駐輪場に希望するサービスはありますか。

【複数選択可：いつでも】

「短時間（1～2 時間程度）無料駐輪場の設置」が 73.4%と最も多く、駅周辺の商業施設や店舗への買い物など、駐輪時間が比較的短時間で済む方向けの駐輪場が求められていることがわかる。次いで「利用料金などのキャッシュレス化」が 50.4%となっているほか、「定期申請のオンライン化」が 30.3%、「駐輪場の無人化（機械化）」も 22.8%であることから、支払い方法の多様化だけでなく、非接触型サービスのニーズもあることがわかる。

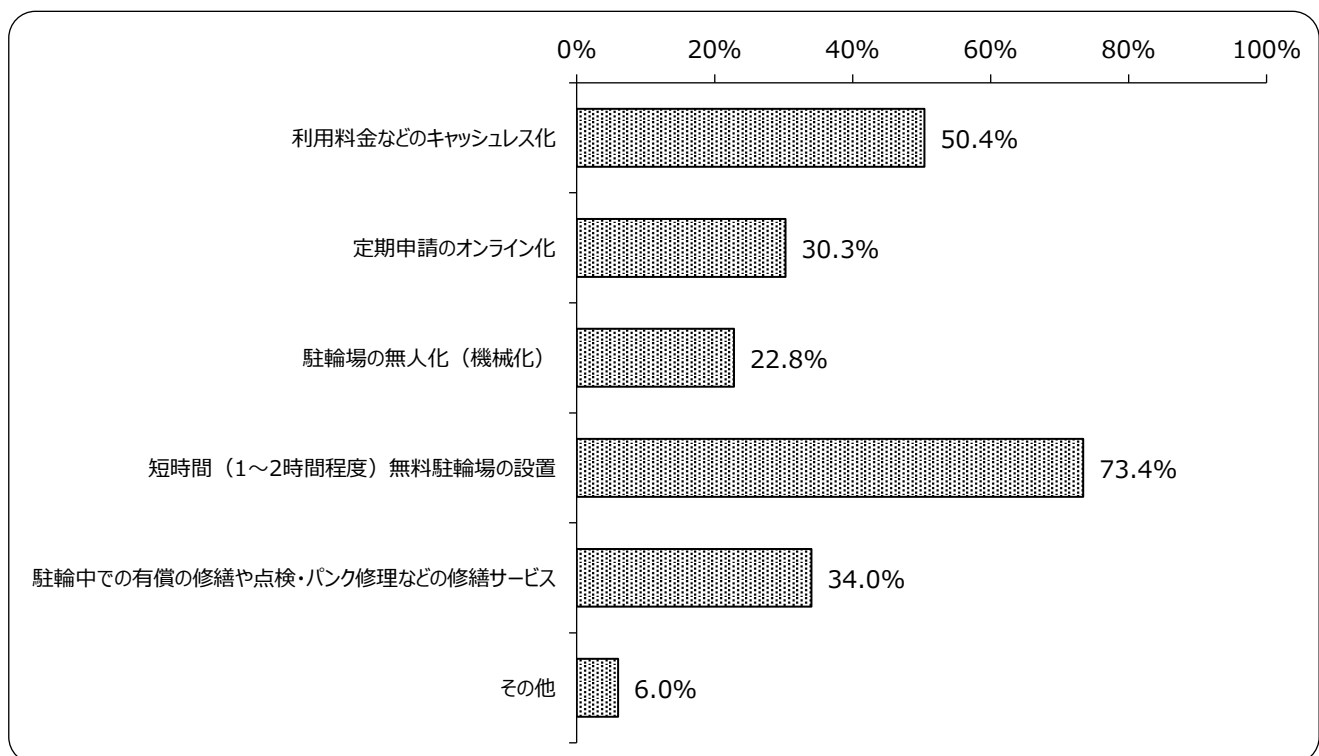
また、「駐輪場での有償の修繕や点検・パンク修理などの修繕サービス」も 34.0%となっており、駐輪場における付加価値も求められていることから、多様な利用形態に対応できる駐輪場をめざす必要がある。

	選択項目（N=482）	回答数	回答数/N
1	利用料金などのキャッシュレス化	243	50.4%
2	定期申請のオンライン化	146	30.3%
3	駐輪場の無人化（機械化）	110	22.8%
4	短時間（1～2時間程度）無料駐輪場の設置	354	73.4%
5	駐輪中での有償の修繕や点検・パンク修理などの修繕サービス	164	34.0%
6	その他	29	6.0%

〔6 その他〕

【主な回答】

- 駐輪場の無料化
- 電動自転車やタイヤの大きい自転車などが停めやすい駐輪場の整備
- 駅や商業施設に近接する利便性の高い駐輪場の整備



「本市の自転車施策に対する満足度及び自由意見など」

問 24. 本市での自転車の利用環境、安全利用、自転車の通行環境及び駐輪環境などについて、以下の項目に対する満足度をお答えください。また、ご意見がございましたらご自由にお書きください。

【各項目】

① 利用促進

⇒シェアサイクルなどの貸自転車が使いやすい環境やマイ自転車（※個人などで所有している自転車）においても通勤、通学や観光利用など手軽に楽しく自転車を利用できる環境ですか。

② 安全利用

⇒信号を守り、左側通行するなど自転車の交通ルール・マナーが順守されている状況ですか。

③ 通行環境

⇒あなたがお住まいの地域の道路は、自転車で走りやすい状況ですか。

④ 駐輪環境

⇒通勤通学時などで利用する駅前駐輪場は停めたいときに止められるなど使いやすい状況ですか。

【選択肢は各項目 1 つ：自由記述】

①利用促進の満足度は、「おおむね満足している」及び「満足している」を合計して約 4 割（42.1%）の方が満足していることが分かる。一方で、「あまり満足していない」及び「不満がある」を合計して約 2 割（16.8%）の方が、現状の利用促進では不十分であることもわかる。

②安全利用の満足度は、「どちらともいえない」、「あまり満足していない」が 57.2%と全体の半分以上を占めていることから、今後も継続して自転車の安全利用について、啓発等を行う必要がある。

③通行環境の満足度は、「おおむね満足している」及び「満足している」を合計して約 3 割（33.6%）の方が満足していることがわかる。一方で、「不満がある」及び「あまり満足していない」を合計して約 4 割（39.3%）の方が、通行環境に満足していない。

④駐輪環境の満足度は、「おおむね満足している」が 35.1%、「満足している」が 12.0%であり、約 5 割（47.1%）の方が満足していることがわかる。駐輪場のキャッシュレス化など、多様な利用形態に対応できる駐輪場をめざし、より一層利用者サービスの向上に努める。

選択項目（N=482）	満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	不満がある	計（回答総数）
①利用促進	41 8.5%	162 33.6%	198 41.1%	62 12.9%	19 3.9%	482 100.0%
②安全利用	19 3.9%	123 25.5%	140 29.0%	136 28.2%	64 13.3%	482 100.0%
③通行環境	23 4.8%	139 28.8%	131 27.2%	115 23.9%	74 15.4%	482 100.0%
④駐輪環境	58 12.0%	169 35.1%	142 29.5%	75 15.6%	38 7.9%	482 100.0%

【「①利用促進」についての主な回答一覧】

- シェアサイクルの定期券発売。
- シェアサイクルの月単位の定額制プラン導入。
- シェアサイクルをより安くする（高いので別の交通機関に変えた）。
- シェアサイクルを短時間利用時に無料化。
- 身近に自転車を返せればもっとシェアサイクルが普及するかも。
- 返却しようとするポートが満車で、他のポートがとても遠くて困った。
- 駅だけでなく住宅地内にもシェアサイクルのポートを設置してほしい。
- シェアサイクル等レンタサイクルは、もっと PR し、利用促進を図るべき。
- シェアサイクルは市外の方向けと思う、普段使いするようなものではないように感じる。
- 百舌鳥古墳、古市古墳など観光に自転車を使えるようにする。
- 自転車のサブスクリプション（1 台の自転車を長く使えるような仕組み）。
- 自転車施策で堺のイメージアップを図る。
- シマノと市でタイアップして事業をする。
- 自転車の販売時にリサイクル・処分代も含んだ価格で販売。
- ふるさと納税の返礼品に堺市限定の自転車を作成する。

【「②安全利用」についての主な回答一覧】

- 大人もヘルメットをしてほしい。
- 自転車の逆走、信号無視、無灯火、スマホ利用（ながら運転）、高齢者のふらつき運転、傘さし運転、並走、イヤホン、ベルを鳴らして人を退かせる。
上記の取り締まりをしてほしい、危険を発信してほしい。
- 年齢を問わず交通ルール・マナーの徹底は最優先事項だと思う。
- 点灯で上向きにしたり眩しすぎるものがあり、点灯に関する規制がないのが不満。
- 自転車乗車時、信号機で歩行者信号と車の信号のどちらを見てよいかわからない。
- カーブミラーの設置をより推進してほしい。
- 子どもが危険運転をしているので、学校でルールを教えてほしい。
- 自転車の交通法規の徹底をしてほしい。
- 警察官の指導も、たまには実施したほうがよい。
- 自転車マナー教室を自治会等の協力を得て警察主体でやってはどうか。
- 15 歳以上にはバイクに準じた、免許制度を考えてほしい。
- 自転車に乗るための講習会。
- 自転車を普及させる前に通学の整備や車一時通行止め等、歩行者が安全に歩ける環境を作ってから。
- 防犯カメラの活用。
- 左側通行の周知徹底。
- 幼児を後ろに乗せているので車がこわい。
- 逆走禁止と表示されていても逆走していることがある。
- 近隣の高校生の登下校時の自転車マナーが悪い。（高校の通学路）
- 自転車と歩道で並走している学生がいる。

【「③通行環境」についての主な回答一覧】

- 自転車レーンがあると走りやすくて安心。

- 自転車専用レーンを作るのなら、車道をその分広げてほしい。
- 歩道を広げて、歩道の車道側に自転車レーンがあるのが一番良い。
- ガードレールなどで車道と隔てる柵を立てた方が良い。
- 車を自転車レーンに駐車する行為を禁止してほしい。
- 狭い車道に自転車道を設置しているのは、自転車も車も運転するときに危険性が高い。
- 狭い車道ではルールを守って走行しても車から邪魔者扱いを受けたり幅寄せされて怖い思いをした。
- 無理やり自転車レーンを引くのはどうなのかと思うこともある。
- 自転車レーン上の地面の凹凸が気になる。
- 大和高田線は歩道が広く車道が大型でいっぱいなのに無理に自転車通行帯を引いていて危険。
- 初芝周辺（野尻町等）道幅が狭く、自転車が通りにくい。
- 自転車専用部分の塗装がはげている歩道もあり、歩行者と自転車専用部分の区別がつきにくい。
- 車道はママチャリでは利用しにくい。
- 自転車が車道を走ることの車を運転手へ周知することが必要。
- 自転車レーンなど、自転車と歩道の区分けされている場所が少なすぎる。
- 中区の狭い道で自転車では危険を感じる時があるので、道の拡張が難しいなら電柱地中化を。
- 青いレーンはほんの一部。
- 専用の青いレーンがすべるし、マンホールもあつたりして通りたいとは思わない。
- 家や事業所等と道路の間の歩道に車の出し入れのガイドラインが石で設置されていて、自転車を走る際に衝撃を感じて危険。（泉北一号線の南陵町の事業所の南側から西へ 300m ほどが酷い）
- 車道のアスファルトと側道の段差や、下水の鉄製の蓋など滑って転倒する、危険。
- 東区北野田地域の府道 26 号線が自転車で走り辛い。

【「④駐輪環境」についての主な回答一覧】

- 堺東駅周辺の放置自転車は減った。
- JR 津久野駅は、ここ 10 年ほどは放置自転車を目にすることが無くなった。
- 駅前の駐輪スペースは停めやすくなっている。
- 泉ヶ丘駅などの機械式無人駐輪機のおかげで駐輪も通行もスムーズになった。
- 地下駐輪場に停めるのが面倒。しかし駅周辺が広々として動きやすくなった。
- 駅前駐輪場はコミュニケーションの場になるので有人で、シニアの方の働く場所にもなって良い。
- 駐輪場料金を値下げ。
- 駐輪場の入り口から機械化にし、時間や体力をかかないようにしてほしい。
- 放置自転車は駅前だけでなく、住宅街も見回って取り締まってほしい。
- もっと駐輪場を増やしてほしい。
- 堺東周辺は堺市役所以外ほぼ駐輪できない、高島屋前の短時間無料駐輪場は歩道幅が狭くなり邪魔なので、代わりに相当規模の専用駐輪施設を作してほしい。
- 堺東駅の西側に駐輪場を整備してほしい。
- 駐輪場が駅の中に設置されていたら便利だと思う。
- 駅前の駐輪スペースの横に駐輪している自転車がある。
- 駐輪場ではない建物の隙間に停めている自転車をよく見かける。
- 堺駅の駐輪場は利用者が多すぎて停められず、色んなところに駐輪している人がいる。
- 駐輪場で、自転車を停めるラックが高い位置と低い位置に順々にあるものは本当に不便。
- 前輪を持ち上げるタイプの駐輪場は高齢者や子乗せ自転車には厳しい。

- 駅の近くに平面の駐輪場が欲しい。2 階の駐輪場は大変。
- ちょっと銀行に行くだけなのに、ちゃんと駐輪場に停めるのはとても面倒で困っている。
- 急な坂の上の駐輪場は利用しにくい。
- 堺東高島屋の駐輪場に入る際、自転車をおりて通らない人がほとんど。
- 駐輪場が不足しているのではなく、入出庫の手続きが面倒に感じる人が多くて路上駐輪されている。
- 堺東駅の駐輪場設置台数は不足かもしれない。
- なかもずの駐輪場が少ない。
- なかもず駅、ほんの 10-15 分駐輪したいだけなのでそれができる場所がなく、自転車で行きづらい。
- 一時利用の駐輪場の場所が分かりにくい。
- バス停に駐輪場がなく不便、阪堺線についても同様。

